

令和型社会保障 報告書の要旨

令和型社会保障の報告書
要旨は次の通り。

【基本的考え方】

少子化は地域社会の消滅や
経済縮小を招く、国の存続そ
のものに関わる問題。子育て
・若者世代への支援を急速か
つ強力に整備する。少子化対
策で人口減少の流れを変え
る。超高齢社会に備え、社会
の持続可能性を高める対応を
強化。年齢に関係なく、能力
に応じて支え合う必要があ
る。

【医療・介護】

出産育児一時金を二年度
から五十万円に増額する。妊
産婦向けの給付は継続実施が
必要。育児休業給付の対象外
の自営業やフリーランス向け
現金支給、子育て期間に時短
勤務を選びやすくする給付制
度、児童手当拡充について、
二三年に早急に具体化を進め
る。

【子育て・子高文】

二〇二三年の経済財政運営
の指針「骨太方針」で、子ども
も関連予算の倍増の道筋を示
す。

出産育児一時金を二年度
から五十万円に増額する。妊
産婦向けの給付は継続実施が
必要。育児休業給付の対象外
の自営業やフリーランス向け
現金支給、子育て期間に時短
勤務を選びやすくする給付制
度、児童手当拡充について、
二三年に早急に具体化を進め
る。

二五年までに七十五歳以上
の後期高齢者の割合が急激に
高まる」とを踏まえ、負担能
力に応じ、医療費を公平に支
える仕組みを構築。七十五歳
以上の医療保険料を引き上げ
る。

介護では、サービス提供体
制や給付と負担の見直し、介
護人材の確保が喫緊の課題。
保険料や利用者の負担の在り
方は、二三年の骨太方針に向
け検討する。

【働き方】

勤労者皆保険に向け、短時
間労働者が厚生年金に加入す
るため、企業規模要件を撤廃
する。フリーランスやギグワ
ーカーへの対応策を求める。